

# 優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル 古き良き日本の故郷をしのぶ極上の安らぎ空間

タイプ 持家一戸建

構造 鉄骨造

講評

鉄骨造の住宅とは思えないほど迫力のあるインテリア。プランや材料の端々にこだわりが感じられる。照明もうまい。やや広角のきつい写真なので、蔵戸のプロポーションや周囲とのバランスがわかりにくくなっているのが残念。

## Before

A：和室



B：和室



C：吹抜



①：眺望が楽しめるくつろぎの間



④：かまくらをイメージアール状の塗り壁で囲った畳コーナー



⑤：光の演出が楽しめる畳コーナー



⑦：月見窓を設けた階段の踊り場



⑧：リビング入口の扉にも蔵戸を活用

②：東北の囲炉裏端をイメージした極上のおもてなし空間



## After

③：骨董品や蔵戸を活用したテーブルが映える空間



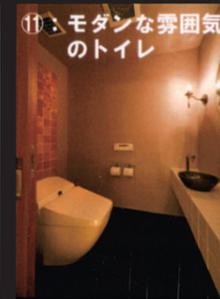
⑥：大勢のお客様をおもてなしできる大空間



⑨：巾木は1枚ものの杉板を加工した、アール形状の廊下



⑩：すっきりとした洗面コーナー



⑪：モダンな雰囲気トイレ



⑫：専門の職人により、造り付けた着物室の総桐の収納



⑬：着付けがご趣味の奥様が着物を保管しやすいよう細かく設計された着物室

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

＜リフォームの動機＞ 東北地方に残るアンティークの収集がご趣味のご主人。バルコニーの防水工事をきっかけに、離れの2階を忙しい日常に疲れたときにほっとできる場所にしたいとご計画。

＜設計・施工の工夫点＞

・ご主人のこだわりは、ありきたりではない、遊び心あふれる空間にしたいということ。東北地方の囲炉裏端をイメージした、骨董品や蔵戸が主役のおもてなし空間には建具やテーブルにも逸品ものの蔵戸を活用。

・ご主人自らが銘木の選定にこだわられ、床は天然木を採用。

アール形状の廊下の巾木も一枚の杉板を曲げて加工。

・和室は壁を漆喰の塗り壁に、琉球畳に囲炉裏と床の間を設置。よしずを模した窓周りは時間と共に光と色彩が美しく変化する。

・施主のこだわりにより設計者が応え、宮大工もできる職人と現場を三位一体で作上げた、一品生産の贅を尽くした一邸。

＜施主様の感想・満足度＞ これまで遊んでいたスペースで、仕舞い込むことが多かった品物を、眺め、実際に使って楽しめるようになり、また、来た人が皆寛いでくれる心安らぐスペースです。

性能向上の特性  
耐久性

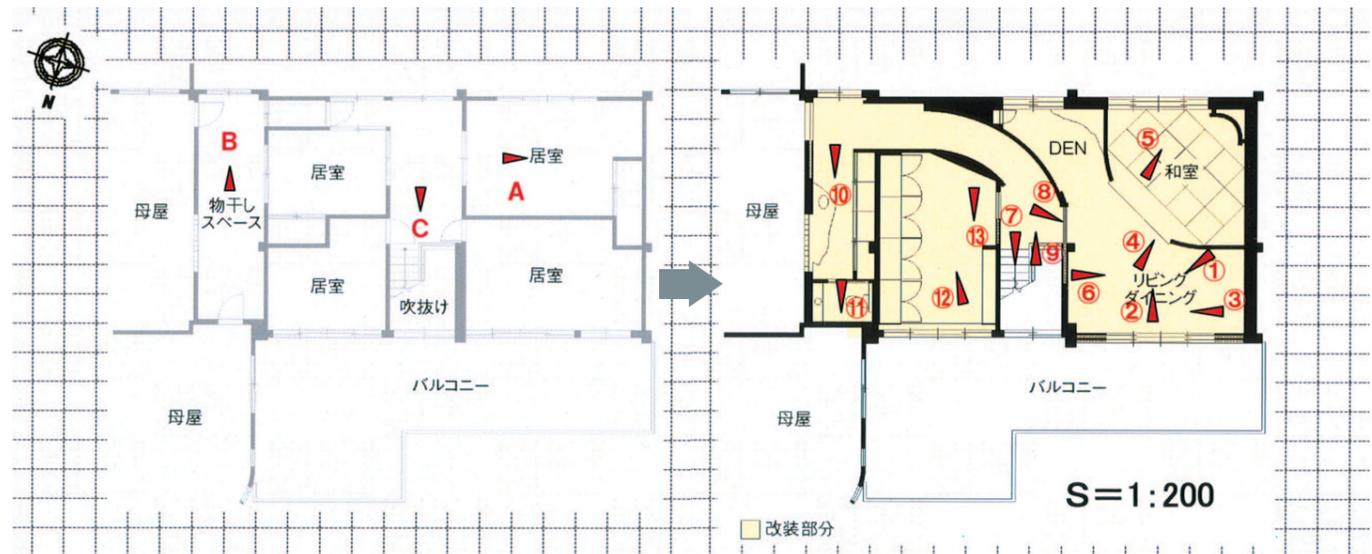
特に配慮した事項  
建物自体はしっかりつくられた重量鉄骨構造。築年なりに傷んできていたバルコニーの防水工事をあわせて施工。

## データ

所在地	奈良県北葛城郡	築後年数	36年	施工期間	105 日間
該当工事面積	94 m <sup>2</sup> / 総工事床面積 94 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	3,665 万円 / 総工事費 3,665 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 1 人 / 15歳未満: 1 人 / ペット:				
設計会社	パナホーム (株) / (株) ヤン	担当者	中町 一雄 / 橋本 真由美		
施工会社	パナホーム (株)	担当者	脇坂 成市		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部